

# 「わたしのすきな本」コンクール表彰式

昨年9月に募集した「わたしのすきな本」コンクールに、704点もの応募がありました。厳正な審査のうえ優秀作品を決定し、表彰式を2月6日の生涯学習大会兼本のあるまちづくり大会で行いました。



▲ 特賞受賞の名和中 谷田さん

- |   |  |
|---|--|
| (敬称略)<br>未就学児の部 竹中清乃<br>小学生の部 木村朋花<br>(中山小4年)<br>中学生の部 谷田智佳香<br>(名和中2年)<br>一般の部 高橋麻美<br>未就学児の部 船田和<br>(名和保育所)<br>小学生の部 森田美咲<br>(名和小5年)<br>中学生の部 前田遥香<br>(中山小1年)<br>一般の部 | 未就学児の部 山本哲<br>(逢坂保育所)<br>小学生の部 中嶋一貴<br>(大山西小3年)<br>中学生の部 田中文将<br>(中山中3年)<br>一般の部 綾木真理子<br>未就学児の部 樋口こころ<br>(逢坂保育所)<br>小学生の部 山内優生<br>(大山西小4年)<br>中学生の部 小原将人<br>(大山西中2年)<br>一般の部 秋樹勝利 |
|---|--|



▲ 保育士から幼年童話を受け取る児童たち。(庄内保育所で)

## 小学生になっても読んでね! 「ブックサード」で幼年童話

小学校入学を控えた6歳の児童とご家族に、幼年童話をお渡しする「ブックサード」が始まりました。これは、3年目になる文部科学省の委託事業の一環として、進めてきたものです。

家庭や保育所で読み聞かせを楽しんだ児童が、絵本の次のジャンルとして最適な幼年童話と出会う機会をつくり、少しずつ物語へと進んでいくことを支援します。

まず幼年童話リストをお渡しして、12冊の中から、受け取る本1冊を親子で選びます。

子どもたちは、お父さんお母さんと一緒にこの本選びが楽しいようすで「どれにしようかな」「ねえ、これ読んでみて」とにこにこしながら1冊ずつ手にとって開いていました。

選んだ本は、保育所で先生から「家の人に読んでもらってね」

という言葉を添えて1人ずつ手渡されます。

小学校入学までの待ち遠しく大切なこの時期に、幼年童話を介した親子のふれあいが、児童を支え励ましてくれることでしょう。

6か月の赤ちゃんへ「ブックスタート」3歳になったら「ブックセカンド」そして、小学校という次のステージへつなぐ「ブックサード」この3つの事業を就学前の大きな柱として、家庭や地域で児童の読書力をしっかりと育てていきます。



▶「帰ったらいっしょに読もうね」(逢坂保育所で)